



校長だより

ざまたん
座間小キャラクター

座間市立座間小学校（電話 251-0009）
校長 大谷 一

10月には多くの学年で遠足がありました。小学生にとっては最も楽しみにしている学校行事のひとつではないかと思います。学年ごとに行き先を検討し、遠足のなかでの活動内容も、学年に応じて、少しずつ自分たちが決めて責任をもって行動し、協力することの大切さや社会に出る時のマナーなども身に付けるようにしています。6年生は日光への修学旅行に行き、小学校での大きな思い出づくりができたのではないかと思います。11月9日には運動会がありますので、一生懸命取り組んできた成果を、多くの保護者に観ていただきたいと思います。



ざまっ子まつり



日光修学旅行

11月21日（木）に、座間小学校の研究発表会があります。現時点で約80名の市内外の先生が参加を申し込んでいます。残念ながら保護者の方には参加いただくことはできません。

小中学校は、例えば全国学力調査の分析結果などから把握した各校の教育課題を解決したり、より良い教育実践をすすめたりするために、すべての学校が校内研究に取り組んでいます。

座間小学校では、「考えたい・表現したい・生かしたい」を引き出す国語の授業づくり～個々の読みの違いを生かした「読みの共有」を通して～というテーマについて、校内研究をすすめてきました。その成果を広く発表するのが研究発表会です。

児童が「読み」理解する内容は一人ひとり少しずつ異なります。その異なる理解を相互に意見を交換することで、自分とは違う理解の仕方を知ったり、また他の人がなぜそう考えたのかを質問したりすることで、もっと深く考えたいとか、自分の考えたことを他の人に分かりやすく表現したいとか、そのような学習を通して身に付けた力を国語の授業だけでなく、他の教科や日常生活でも生かしたいという意欲を高めることができるような授業をすすめています。

具体的には、授業を行う前に授業をする先生が1人で考えるのではなく、同じ学年の他のクラスの先生や、他の学年の先生や校長、教頭まで参加して、授業の進め方を検討します。そして、その授業を全教員で参観します。放課後には先生が小グループになって授業の良かった点や改善点をまとめます。グループの協議内容を全体会で発表し合い、最後に教育委員会の指導主事や大学の教授からアドバイスをいただきます。このような研究授業を年間を通して行います。研究授業を集積したものや、実際の授業の様子、具体的に取り組んだ方策について、研究発表会では発表します。当日はつぐみ級、2年1組、3年1組、5年4組で国語の研究授業を行います。それ以外のクラスは先に下校します。当日の様子はまた機会があれば改めてお知らせします。